

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

(集中治療系) ECMO/移植再生医療コース 募集要項及びコース概要

1) 応募資格	平成30年4月時点で6年以上の医歴があり、以下のすべての要件を満たしている方 ① 集中治療専門医あるいはそれ相応の医歴・実績があること（応相談） ② 小児集中治療とECMO 診療にかかる臨床経験を多少とも有し、それらに対する熱い想いがあること
2) 募集人員	1名程度
3) 所属先	東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	10月20日(金)予定
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11)の申込先に郵送すること ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 「小児集中治療の経験と、それに対する想い」について ⑤ 「ECMO 診療の経験と、それにかける夢と希望」について (④ ⑤とも書式自由であるが、A4 用紙1枚程度にまとめること) ⑥ 推薦状2通 ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承下さい。
10) 申込期限	平成29年9月29日(金)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	清水 直樹 (東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部部門長) TEL: 042-300-5111(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

(集中治療系) ECMO/移植再生医療コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立小児総合医療センター	
連携して研修する病 院・施設(予定)	東京都立多摩総合医療センター、榊原記念病院、東京医科歯科大学・日本医科大学・福島県立医科大学・岡山大学・大阪大学・東京大学・東京女子医科大学・理化学研究所・国立成育医療研究センター、海外姉施設(英国・北欧・北米・シンガポール等)	
研修時に必要と する知識・技量 (応募資格)	集中治療専門医あるいはそれ相応の医歴・実績があること(詳細については応相談:応募時点で専門医の取得が完了してなくとも、経歴を総合的に評価する予定)。さらに、小児集中治療とECMO診療にかかる臨床経験を多少とも有し、それらに対する熱い想いがあること(この点が極めて重要)。	
コ ー ス 責 任 者	氏名(所属)	清水 直樹 (東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部)
	資格名	救急科専門医、集中治療専門医、麻酔科標榜医、小児科専門医、日本DMAT隊員
	専門分野	救急医学、集中治療医学、蘇生科学、ECMO
臨床指導体制	新興感染症の発生と重篤化は、東京都民の医療安全において深刻な脅威である。2008-9年の新型インフルエンザ・パンデミックにおいて、わが国においても数多くの呼吸循環不全患者が発生したが、膜型人工肺(extracorporeal membrane oxygenation; ECMO)を用いた救命率は、海外と比較して著しく低かった(約30% vs. 70%)。こうした状況を鑑み、日本呼吸療法医学会と日本集中治療医学会はECMOプロジェクトを開始し、次に来たる新興感染症パンデミックへの準備を含め、平時からの呼吸循環不全に対するわが国の診療体制強化を進めている。都立病院群としても、単に救急医・集中治療医・小児集中治療医等の養成をするだけでは危機管理上の不備があり、成人・小児を問わないECMO診療のプロフェッショナルを養成し、ECMO搬送を含めた診療体制を整備する必要に迫られている。当クリニック・フェローコースにおいては、救急医・集中治療医としての一般的専門性を習得・自律するに留まらず、特殊救命手段であるECMO診療にかかるオピニオンリーダーとしての高度な知見を滋養する。さらに、ECMO診療のexit strategyの選択肢である移植医療・再生医療についての知見も深める。	
臨 床 研 究	これまで 行ってきた 研究と実績	小児集中治療・ECMO診療にかかる体制整備にかかる研究(厚生労働科学研究ふくむ)、インフルエンザ等新興・再興感染症の診療にかかる研究(AMED研究ふくむ)、ECMO診療にかかる新たな管理方法の研究。以上につき、国内学会・国際学会での発表・招聘講演等多数。また、わが国の小児ECMO診療にかかるデバイスラグの解消のため、厚生労働省・各種学会との連携のもと、新規デバイス(ECMOカテーテル:NextGen)の導入に成功した実績や、緊急輸入による新規デバイスの臨床応用の実績がある。
	今後行う 研究と 研究体制	上記の継続。ことに、新興・再興感染症についてはAMED・厚生労働科学研究を通じて、そのレジストリ体制の構築にかかる研究を進める(厚生労働科学清水班研究主任研究者「小児救急医療体制の品質評価・最適化・情報発信のための小児救急医療統合情報システムの開発研究(29140701)」)。ECMO診療にかかるデバイスラグを解決すべく、より積極的に活動し、当院の先進医療特区体制と臨床研究支援センターとしての機能も利用しつつ、革新的医療の実施と画期的研究を志す。海外ECMO専門施設(英国)との共同研究の計画も進んでおり、国内側の科研取得も完了した(若林班清水分担)。
研修項目	(1)救急医・集中治療医としての一般的専門性の獲得(小児ふくむ) (2)ECMO診療のプロフェッショナルを指向する研修 (3)移植医療・再生医療にかかる研修	
研修内容・ 達成目標	(1)フェローシップ修了までに日本救急医学会救急科専門医ならびに日本集中治療医学会集中治療専門医を取得する。 (2)長期管理・呼吸補助を主としたECMO診療の経験値として、最低でも年間20件以上、可能な限り年間30件以上を目指す。ECMO搬送についても各施設で研修する。3年間のフェローシップ完了時までに、国内学会発表6回、国際学会発表3回、邦語論文3本、英語論文1本以上の業績獲得を目指す。 (3)院外短期研修(海外研修ふくむ)によって幅広い知見を習得する。	
コース内容に関する 問合せ先	清水 直樹 (東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部部門長) TEL: 042-300-5111(代表)	